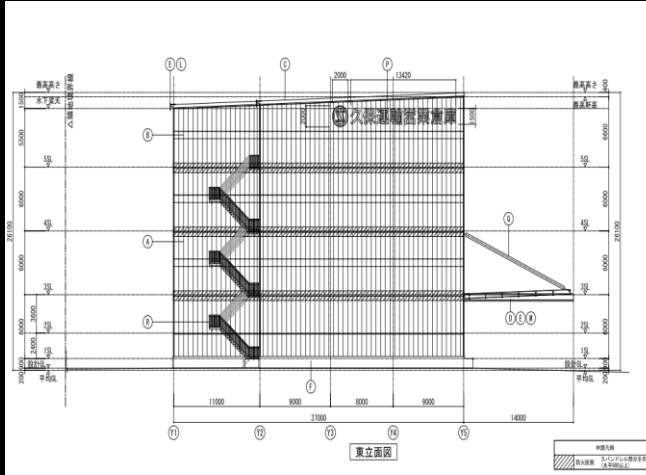


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)久保運輸株式会社 関東物流センター新築工事	階数	地上5F
建設地	平塚市大神九丁目3421-19、3421-25、3421-28	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法22条指定	平均居住人員	70人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年2月 予定	評価の実施日	2024年8月8日
敷地面積	5,326 m ²	作成者	(株)新井組一級建築士事務所
建築面積	2,151 m ²	確認日	2024年8月15日
延床面積	7,050 m ²	確認者	(株)新井組一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 72%
③上記+②以外の 72%
④上記+ 72%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

音環境: N.A., 温熱環境: N.A., 光・視環境: N.A., 空気質環境: N.A.

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

機能性: N.A., 耐用性: 2.7, 対応性: 3.4

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.5

生物環境: 2.0, まちなみ: 3.0, 地域性・: 2.5

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

建物外皮の: N.A., 自然エネ: 3.0, 設備システ: 4.4, 効率的: 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

水資源: 3.4, 非再生材料の: 3.0, 汚染物質: 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

地球温暖化: 4.1, 地域環境: 3.3, 周辺環境: 2.7

3 設計上の配慮事項		
総合	JR相模線門沢橋駅から車で約7分の工業専用地域にS造・5Fの倉庫を計画した。	その他 特になし。
Q1 室内環境	評価対象外。	Q2 サービス性能 階高:3.9m以上。 0.1 ≤ [壁長さ比率] < 0.3。
LR1 エネルギー	BEIm = 0.39、LED 照明設備を導入。	LR2 資源・マテリアル 節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。 「躯体+軽鉄+仕上げ材」により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。 ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。
		LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率72%。 燃焼機器を使用していない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される